



人があつまり楽しく生きがいのあるまち

養老町職員採用案内

- 1～3) 先輩職員を紹介
- 4) 職種紹介・行政組織
- 5) 勤務条件 / 福利厚生
- 6) ライフワークマネジメント・採用試験案内

先輩職員の紹介

[一般行政職]

総務部 税務課
(平成28年度採用)

早崎 智之

私は、自分が生まれ育った養老町で養老町のために働きたいと思い入庁しました。現在は税務課で償却資産にかかる固定資産税の賦課業務を担当しており、主に税額を算出するための現地調査や償却資産申告書の入力業務などを行っています。自分の仕事が、養老町をよりよくするために必要な財源の確保につながるため、とても責任を感じています。しかし、このような仕事を担うことができるのは、行政ならではの魅力ではないでしょうか。養老町には特命事項推進チームがあります。養老町の課題に対して課や役職に関係なく養老町のためにチームで意見を出し合い、イベントや新たな施策を行っています。自分たちで考え、それが実際に町民の方々のために行えることに、やりがいを感じています。養老町役場は決して規模の大きい職場ではありません。しかし、その分若手職員の意見が反映されやすい職場です。職員全員がチーム一丸となり日々養老町のために働いています。

● 後輩へのメッセージ 養老町のために、一緒に働ける日を楽しみにしています。



1日のスケジュール



[一般行政職]

住民福祉部 健康福祉課
(平成31年度採用)

青山 詩穂里

私は、生まれ育った地元になんか貢献したいと思い、養老町役場を志望しました。現在所属している健康福祉課では、高齢者・障がい者のくらしに関する相談への対応や、生活を支援するための各種事業の申請受付などを行っています。主に電話・窓口対応のほかに、介護保険と後期高齢者医療保険の保険料の賦課・徴収業務を担当しています。私たち職員の言葉や対応は町に対するイメージや信頼性に大きく関わるので、町民の方と接する際は、丁寧な説明と対応を心がけています。大変なこともあります、相談をされた方から「ありがとう」と感謝の言葉をいただいたときは、嬉しい気持ちになりやりがいを感じます。また、電話・窓口対応は、自分の担当業務に限らず、多岐にわたる知識を学べることも魅力だと思います。入庁当初や異動後は不安もありましたが、分からないことがあったときは、頼りになる上司や先輩方に相談することができ、一緒に対応策を考えたり、助言をしてくださったりするので安心して働くことができます。

● 後輩へのメッセージ 皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。



1日のスケジュール



[技術職・建築] 産業建設部 建設課
(平成31年度採用)

山本 大貴

私は、民間企業を経て役場へ入庁しました。現在は建設課都市建築係に配属されており、関係部署から工事依頼を受け、現場管理・関係者の調整等を設計段階から工事完成までを幅広く行っております。

工事には新築・改修・解体工事等様々な種類があり、今年度は、小学校給食棟の整備や斎場の内装・空調、公民館等の改修工事を主に担当しています。自分たちで設計したものが目に見える形に出来上がったときの達成感は格別です。また、工事をどのように仕上げていくか、請負業者と協議しながら方針を決め、竣工まで進めることにやりがいを感じます。

職場の雰囲気は、普段は和やかに仕事をしていますが、きちんとするところは緊張感をもって取り組む、メリハリのある良い職場です。それぞれ業務が忙しい中でも、わからないことがあれば先輩・上司が親身になってアドバイスをくれます。

● 後輩へのメッセージ ぜび、養老町の住みよいまちづくりのために、一緒に働きましょう。



1日のスケジュール



[保健師] 保健センター
(平成30年度採用)

丸山 泰恵

もともと病院で看護師として勤務していましたが、病気の予防や健康づくりに携わる仕事がしたいと思い、養老町の保健師になりました。

私は、赤ちゃん訪問や乳幼児健診、予防接種、がん検診の実施や啓発、生活習慣病予防、精神保健に関することなど妊娠期から高齢期までの幅広い世代が健康に暮らしていくためのサポートをしています。

関係機関と協力しながら、ご家族が元気に安心して暮らせるよう支援していくことにやりがいを感じています。また、家庭訪問や地域での健康イベントなどで町民の方と関わる機会も多く、充実した仕事ができています。

困った時は先輩保健師に相談ができ、一緒に解決策を考えてくれます。同世代の保健師や子育て世代も多い職場なので、みんなで助け合いながら、安心して仕事ができることも魅力です。

● 後輩へのメッセージ 子育てしながら安心して仕事ができる職場です。



1日のスケジュール



先輩職員の紹介



〔 保育教諭 〕 養老こども園 (平成29年度採用)

佐野 美香

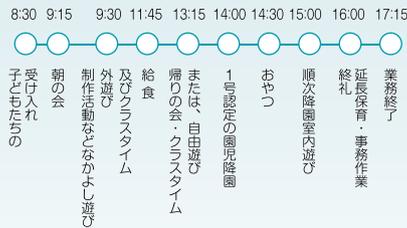
私には年の離れた妹が2人います。そのため、昔から小さい子とかかわることが好きでした。中学校、高校時代の職場体験で保育園や幼稚園に行きました。そこで子どもたちの成長に一番近くで携わることのできる先生という仕事を知り、保育教諭になりたいという夢ができました。そして、高校卒業後の進学先を幼児教育学科に決めました。

保育教諭になって6年目になり、現在は5歳児クラスで22名の子どもたちの担任をしています。毎年受け持つクラスは変わり、子どもたちの個性にも違いがあって、毎日が勉強の日ですが、それがやりがいでもあります。

仕事は、子どもたちの保育・教育だけではなく、保育計画の作成や環境整備、保護者対応など大変なことはたくさんありますが、どんな時でも「さのせんせい！」と来てくれる子どもたちの笑顔が私の原動力となっています。保育教諭は、子どもたちとはもちろん、一緒に助け合える仲間、経験豊かであるなどご指導をしていただける上司の先生と共に成長できる素敵な仕事だと思えます。

● 後輩へのメッセージ 保育教諭を目指しているみなさんと一緒に保育の現場で働ける日を楽しみにしています。

1日のスケジュール



〔 消防職 〕 養老町消防本部 上石津分署 (平成30年度採用)

田中 宏樹

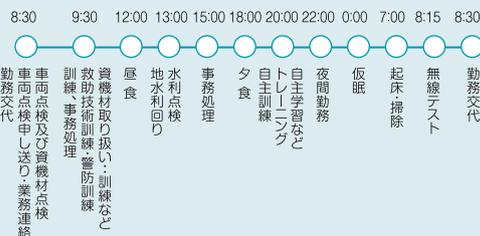
私は、生まれ育った養老町のために働きたいと思い消防士を志しました。消防士の仕事といえば火災・救急・救助などの出動をイメージされることが多いですが、それだけではなく119番通報を受けることや、火災を未然に防ぐための予防業務や届け出を受け付ける窓口業務など多岐にわたります。勤務形態は24時間勤務であり、共同生活をしながら夜間でも常に出動に備えています。

すべての業務において地域に密着しており、出動の際に住民の方から直接感謝の言葉を頂いたり、頼りにされていると実感できたときに大きな喜びと、強い責任感を感じます。また、日々の訓練や業務などを通して先輩から知識・技術を教えていただき、新しい知識を学ぶことで自分の成長を実感できることにやりがいを感じます。

職場の雰囲気は、先輩に何でも聞きやすく、メリハリのある職場です。出動や訓練などやるときはやる、仮眠など身体を休めるときは次の出動に備えて休めることを心がけています。

● 後輩へのメッセージ 消防士になりたい！地域のために働きたい方、養老町で一緒に働きましょう！

1日のスケジュール





勤務条件/福利厚生

給与・待遇等

初任給

(令和5年4月現在)

大学卒	185,200円
短大卒	167,100円
高校卒	154,600円

ボーナス

年間4.4月(令和4年度実績)(ただし、初年度の6月期のみ期間率が変わります)

その他手当

通勤手当、住居手当、時間外勤務手当、扶養手当等

勤務時間・休暇等

勤務時間

月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時15分

休日

土曜日、日曜日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)
※勤務時間及び休日は、配属や職種によって異なることがあります。

年次有給休暇

採用1年目(4月採用の場合)・年間15日 2年目以降・年間20日
(前年使用しなかった年休(最大20日)を翌年に繰り越すことができます)

その他特別休暇等

夏季休暇(3日) 結婚休暇 ボランティア休暇 介護休暇ほか

福利厚生

保険組合

岐阜県市町村職員共済組合が各種給付(出産費、育児休業手当金、療養費など)や資金貸付(自動車、住宅、修学など)、人間ドックの助成などを行っています。

健康管理

全職員に対する定期健康診断、産業医による職場巡視、ストレスチェック、メンタルヘルスに関する相談などを実施しています。

養老町職員互助会

養老町が独自に運営している互助会です。職員の会費を原資として各種給付(お祝金、見舞金など)や人間ドックの助成などを行っています。

災害補償

公務上の災害や通勤による災害によって生じた損害について、地方公務員災害補償基金が補償をおこなっています。

研修

階層別研修

年齢や役職に応じて求められる能力や心構えの向上を図ることを目的とした研修を行います。

能力別研修

仕事を効率的、効果的に進めるための技術を学ぶため、本人希望により研修を行います。

派遣研修

外部研修機関に職員を派遣し、研修を受講します。他の地方公共団体職員との交流の場としても活用しています。

資格取得金

公務遂行上有用と認められる資格や免許を取得した場合、養老町職員組合より助成金があります。



産業建設部 水道課 主査 西脇 啓介



子育てと仕事の 両立を支える職場環境

サポート制度の活用

- 配偶者出産休暇:1日 ● 育児休業:2回 ※ 第二子出産時にも取得予定

育児休業を取得したことで、2、4時間子どもと向き合うことの大変さを実感しました。また、子どもの小さな成長を肌で感じる事ができ、その喜びを家族と一緒に分かち合うこともできました。これらの貴重な経験から、子育てと仕事の両立は当たり前だと感じ、今は妻の負担が少しでも軽減できるよう努めています。今後も少しでも家族の時間を作るために日々の業務も効率的に進めたいと思います。

そんな働き方を家族や上司、同僚にもサポートしてもらいながら、今後も自ら「ワークライフマネジメント」を実現して、働いていきたいと考えています。

● 後輩へのメッセージ

仕事だけじゃない色々なライフステージが今後待っています。
 養老町で働いて、仕事と育児を両立する。そんな職員を目指してみませんか。
 皆さんと一緒に働けることを楽しみにしています。

子育てと仕事の両立を支援する制度

- 産前産後休暇 ● 育児休業 ● 育児参加休暇 ● 配偶者出産休暇
- 子の看護休暇 ● 部分休暇 ● 育児短時間勤務 ● 早出遅出勤務など

採用試験案内

採用までの流れ



試験内容

職 種	第1次試験		第2次試験
一般行政職	教養試験 択一式による筆記試験	事務適性検査 性格特性検査 消防特性検査※	面接試験 小論文試験 集団討論 体力試験※
技術職(土木・建築・電気・機械)			
保育教諭			
保健師			
社会福祉士			
消防職			

※消防職

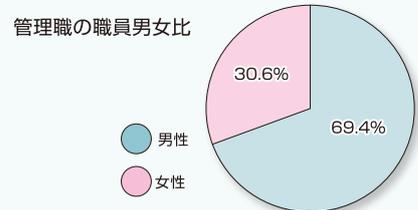
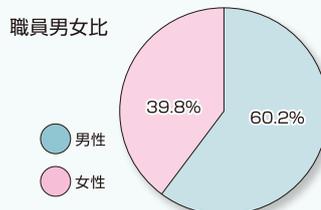
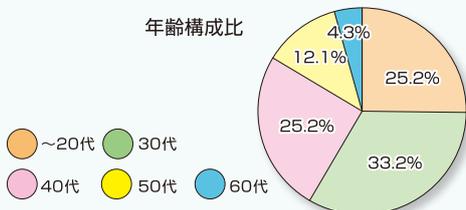
数字で見る! 養老町職員 (令和4年4月1日現在)

町職員数 274人

月一人当たりの時間外勤務数 (令和3年度実績) 14時間

平均年齢 38.7才

年平均有給取得数 (令和3年度実績) 9.6日





養老町

養老町役場 〒503-1392 岐阜県養老郡養老町高田798番地
TEL (0584)32-1100 FAX (0584)32-2686

■ 業務時間 8:30~17:15

■ 休業日 土曜日、日曜日、祝日、年末年始 (12月29日~1月3日)